

ヤマハと Trinity College London が戦略的協業を開始

インド音楽教育市場への取り組みを強化

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、インド共和国（以下、インド）での音楽教育市場拡大を目的とした協業に関する覚書を Trinity College London（トリニティ・カレッジ・ロンドン、以下、Trinity）と締結しました。

インドでは経済成長と教育投資の増加を背景に、音楽教育市場のさらなる成長が期待されています。また、政府の教育政策「NEP 2020」では、芸術や音楽を含む“全人的な学び”が重視されており、学校教育における音楽の重要性は一段と高まっています。当社は、2017年よりインドの公教育にリコーダーなどの楽器を用いた音楽教育を導入する「スクールプロジェクト」を通じて音楽教育普及を推進してきました。このたびインドの音楽教育業界において訴求力を持つ Trinity との協業体制を構築し、「指導者や学習者を支援する」という共通の理念のもと、同国における音楽教育のさらなる普及と市場成長の加速に向けた取り組みを共同で推進していきます。

<主な協業内容>



- 音楽指導者の育成およびエンゲージメント強化
- 音楽学習者向けの音楽教育プログラムの拡充
- 音楽教育の価値の訴求

<Trinity College London CEO Erez Tocker（エRez・トッカー）氏のコメント>

150年以上にわたり、トリニティ・カレッジ・ロンドンは、音楽教育が持つ変革の力を提唱してきました。それは単に技術的なスキルを養うだけでなく、若者が健やかに成長するために必要な自信、創造性、そして幅広いライフスキルを育むためです。このたび、インドにおけるヤマハとの協業を発表できることを大変嬉しく思います。本協業は、双方の目的と専門性が強く結びついた取り組みです。私たちは、質の高い、誰もがアクセスできる音楽教育の重要性、そして次世代の音楽家を育成する上で指導者が果たす中心的な役割について、深い信念を共有しています。音楽学習におけるヤマハのグローバルなリーダーシップと、トリニティの国際的に認められた資格制度を結集することで、インドにおける音楽教育へのアクセスを拡大し、参加への障壁を取り除くとともに、音楽指導者と学習者のための機会を創出する、意義深い取り組みを推進していきます。

<楽器事業本部販売会社統括部長 酒井憲寧のコメント>

世界的に評価の高い音楽資格試験を提供する Trinity との協業は、インドの音楽教育にとって、学びの質を継続的に高める仕組みと、多様な学びの選択肢を提供する大きな転機になると考えています。

Trinity が持つ国際的に認知された評価基準と、ヤマハが学校教育の現場で培ってきたノウハウやネットワークを組み合わせることで、指導者・学習者双方が“成長を実感できる学びの環境”をインド全土に広げることが可能になります。ヤマハは、音楽教育の発展を通じて、インドの子どもたちの可能性をさらに引き出すとともに、同国の持続的な市場成長と教育環境の向上に貢献してまいります。

<Trinity College London について>

英国ロンドンを拠点とする国際的な資格認定機関・教育慈善団体です。1872年に Church Choral Society と College of Church Music として設立され、資格認定機関として運用を開始した 1877 年以降、音楽、演劇、英語学習・教授法などの分野における資格試験を提供しており、世界 80 以上で毎年約 85 万人が受験しています。

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：藤原

TEL. 050-3148-8660